

## 8020 運動推進特別事業 事業報告

### 8020 推進アンバサダー養成事業

#### 1 事業目的

既存の取組みと連携した歯科の啓発を促進するため、地域の保健医療関係者を 8020 推進アンバサダーとして養成し、各職種の活動と連携した歯科保健の啓発活動の拡がりを目指す。

＜8020 推進アンバサダー＞

役割：歯と口の健康が全身の健康と関連していることを理解し、多様な既存の健康づくりの取組みと連携した歯科に関する啓発を実施する。また、各職種内で歯科に関する啓発活動を広める。

#### 2 事業結果

##### 2-1 事業実施検討委員会の実施

有識者、関係団体、歯科医師、歯科衛生士を委員として検討委員会を立ち上げ、以下の資料を作成した。

###### ①啓発資料

保健医療関係者が府民向けに使用できる歯科の内容を絡めた啓発資料

- ・乳幼児（1～3歳）の成長と歯とお口の健康
- ・幼児期から小学生の事故防止
- ・幼児（3歳～就学前）の食事と歯とお口の健康
- ・糖尿病と歯周病の関係
- ・特定健診と歯とお口の健康①
- ・特定健診と歯とお口の健康②
- ・フレイルとオーラルフレイル

###### ②8020 推進アンバサダー活動ガイドライン

啓発資料に関する保健医療関係者向けの解説書

検討委員会 開催実績

###### 第1回

【開催日時】令和4年6月7日（火）18時30分～

【開催場所】大阪府歯科医師会

【内 容】事業概要と事業計画について

啓発資料及び8020 推進アンバサダー活動ガイドラインの検討

講師養成研修会及び8020 推進アンバサダー養成研修会の検討

## 第2回

【開催日時】令和4年9月20日（火）18時30分～

【開催場所】大阪府歯科医師会

【内 容】啓発資料及び8020推進アンバサダー活動ガイドラインの検討  
講師養成研修会及び8020推進アンバサダー養成研修会の検討

## 第3回

【開催日時】令和5年2月21日（火）18時30分～

【開催場所】大阪府歯科医師会

【内 容】啓発資料及び8020推進アンバサダー活動ガイドラインの検討  
8020推進アンバサダー養成研修会の実施報告及び課題分析  
次年度事業の検討

### 検討委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

|     | 氏 名   | 所 属                    |
|-----|-------|------------------------|
| 委員長 | 山本 道也 | 大阪府歯科医師会 常務理事          |
| 委員  | 土居 貴士 | 大阪歯科大学口腔衛生学講座 准教授      |
| 〃   | 坂中 哲人 | 大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学教室 助教 |
| 〃   | 藤井 照代 | 大阪府看護協会 教育研修部 部長       |
| 〃   | 橋本 通子 | 大阪府栄養士会 地域活動部会 参与      |
| 〃   | 間狩みな子 | 大阪府歯科衛生士会 常務理事         |
| 〃   | 北垣 英俊 | 大阪府歯科医師会 理事            |
| 〃   | 岩本 治  | 大阪府歯科医師会 理事            |

## 2-2 講師養成研修会の実施

圏域内で8020推進アンバサダー養成研修会の運営を担う地区歯科医師会の歯科医師及び歯科衛生士に対して、研修会の実施方法等について説明を行った。

【開催日時】令和4年10月18日（火）19時～

【開催場所】大阪府歯科医師会

【講 師】大阪府歯科医師会 常務理事 山本 道也  
大阪府歯科医師会 理事 北垣 英俊  
大阪府歯科医師会 理事 岩本 治  
大阪府歯科衛生士会 常務理事 間狩 みな子

【説明内容】

- ・事業背景と事業概要
- ・地区における事業実施スケジュール
- ・事業費の内訳と取り扱い
- ・研修会実施に係る注意点やポイント

・啓発資料やガイドラインを使用した研修会の実施方法

【参加者】3名（大阪市東歯科医師会）

### 2-3 8020推進アンバサダー養成研修会の実施

啓発資料や8020推進アンバサダー活動ガイドラインを用いて、1医療圏（大阪市医療圏）において2回、地区歯科医師会運営のもとで研修会を実施した。参加者の募集にあたっては主に大阪府看護協会及び大阪府栄養士会にご協力いただいた。

#### 第1回

【開催日時】令和4年12月14日（水）13時30分～14時50分

【開催場所】大阪府歯科医師会

【講師】大阪市東歯科医師会 大橋 保彦  
          歯科衛生士          畠 幸子  
          歯科衛生士          奥田 未容

【研修内容】事業概要、事業目的の説明  
              ガイドラインの構成、使用方法の説明  
              啓発資料、ガイドラインの歯科に関する内容の解説及び使用デモ  
              質疑応答

【参加者】11名（保健師1名、看護師2名、管理栄養士8名）

#### 第2回

【開催日時】令和5年1月25日（水）13時30分～14時50分

【開催場所】大阪府歯科医師会

【講師】大阪市東歯科医師会 山下 幸樹  
          歯科衛生士          畠 幸子  
          歯科衛生士          戸田 ちか子

【研修内容】第1回研修会の内容説明、補足説明  
              受講者による啓発資料の活用に関する発表  
              意見交換

【参加者】7名（保健師1名、管理栄養士6名）

【事後評価】

- ・既存の健康教室で歯科的内容（離乳食の話題の中に乳歯の口腔内清掃、仕上げ磨きの必要性）の追加を試みられた方や、企業内における既存の保健指導の部分で啓発資料を独自にアレンジし取り入れておられる方、この運動をまずは自分たちのグループ内でSNS等を使い広く周知、情報共有された方など、受講者ごとに歯科に対する意識の向上につながり、それぞれのフィールドでアンバサダーとしての活動の広がりが感じられた。
- ・看護協会では、研修会参加者だけでなく、会の内部でも啓発資料、ガイドブックの使い方の周知をされた。
- ・また、多職種（言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、薬剤師等）にも啓発が広がればよいのではないかとの声もあった。

- ・一方で、今後の活動におけるサポート面で不安を抱えられている部分も見受けられ、今後のフォローアップ等への希望もあった（予算、人員配置等の問題）。

【アンケート結果】

(1) 研修内容について理解できましたか

|             | 第1回 |       | 第2回 |       |
|-------------|-----|-------|-----|-------|
|             | 人数  | %     | 人数  | %     |
| よく理解できた     | 8   | 72.7% | 4   | 57.1% |
| おおむね理解できた   | 3   | 27.3% | 3   | 42.9% |
| どちらでもない     | 0   | 0.0%  | 0   | 0.0%  |
| あまり理解できなかった | 0   | 0.0%  | 0   | 0.0%  |
| 理解できなかった    | 0   | 0.0%  | 0   | 0.0%  |

(2) 内容に対しての研修時間は適切でしたか。

|      | 第1回 |       | 第2回 |       |
|------|-----|-------|-----|-------|
|      | 人数  | %     | 人数  | %     |
| 短い   | 1   | 9.1%  | 1   | 14.3% |
| やや短い | 7   | 63.6% | 5   | 71.4% |
| 適切   | 3   | 27.3% | 1   | 14.3% |
| やや長い | 0   | 0.0%  | 0   | 0.0%  |
| 長い   | 0   | 0.0%  | 0   | 0.0%  |

(3) 今後、府民啓発の場で活かせる内容はありましたか。

|         | 第1回 |       | 第2回 |       |
|---------|-----|-------|-----|-------|
|         | 人数  | %     | 人数  | %     |
| 大いにあった  | 4   | 36.4% | 2   | 28.6% |
| あった     | 7   | 63.6% | 5   | 71.4% |
| どちらでもない | 0   | 0.0%  | 0   | 0.0%  |
| あまりなかった | 0   | 0.0%  | 0   | 0.0%  |

### 3 事業評価

歯周病は中高年以降の歯を失う主要な原因であると言われているが、大阪府民の40歳、60歳における歯周治療が必要な者の割合は第2次大阪府歯科口腔保健計画策定時よりも悪化している。大阪府の8020達成者率の更なる向上のためには、歯周病の罹患率の改善が必要であり、そのためには府民一人一人が歯科疾患に対する早期発見・早期治療の意識を持ち、定期的に歯科を受診することが不可欠である。

そこで、歯と口の健康は全身の健康とも関連することから、歯科以外の様々な健康づくりの取組みに関連させた歯科啓発を府民へ幅広く行うことが効果的だと考え、本事業では地域で活動する保健医療関係者（看護師、保健師、栄養士等）を8020推進アンバサダーとして養成した。

初年度である本年度は、啓発資料やガイドラインを用いて、地区歯科医師会運営のもと大阪市医療圏で活動する保健医療関係者向けに8020推進アンバサダー養成研修会を2回実施し、延べ18名（保健師2名、看護師2名、管理栄養士会14名）が参加した。

研修会のアンケートでは、今後、府民啓発の場で活かせる内容が「大いにあった」、「あった」という回答が2回の研修会をとおして100%得られた。受講者からは「栄養と歯科は切っても切れない関連性があり、今後も勉強していきたい」、「高齢者介護予防事業で活用したい」、「老人ホームの訪問栄養指導の際にオーラルフレイルの話も絡めて指導したい」等の前向きな意見が多数寄せられ、今後、啓発資料を活用した歯科に関する啓発の活性化が見込まれる。

また、2回目の研修会では、既存の活動の中に歯科の内容を取り入れて実際に府民向けに使用した事例等が受講者より発表された。提供した啓発資料の内容だけでなく、本事業をきっかけに指導できていなかった部分に気づき、府民へ伝えたい歯科の内容を自身で調べて指導に取り入れたという事例もあり、本事業を通して受講者の歯科に対する意識の向上が見られた。

さらに、本研修の内容を各団体に持ち帰り、伝達研修やSNS等で発信されている。自身の活動に歯科の内容を取り入れるだけでなく、8020推進アンバサダーとして、各職種内において歯科の重要性を広めるという役割にも期待できる。

次年度は4医療圏にて同様の研修会を行うことになるが、実際に地域で活動している保健医療関係者の受講率をより上げるために、まずは各団体に本事業の趣旨、目的をご理解いただき、研修会の周知方法等も改めて検討する必要がある。

また、研修会では質疑応答や意見交換が非常に活発に行われたことから、研修時間が押してしまったため、地区歯科医師会と連携し、丁寧な運営ができるよう工夫したい。

引き続き、今年度養成した8020推進アンバサダーによる府民啓発や各職種内での情報共有と並行し、次年度以降は大阪府下全域に事業を広げることで幅広く多職種による歯科に係る啓発が展開されることを目指したい。